

令和 8 年度 学習の手引き

教科名	国語科	年次	2学年	使用 教材	高等学校 標準論理国語(第一学習社) 常用漢字の1・2トライ(浜島書店)
科目名	論理国語	必修			
		単位	2		

科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習方法

- (1) 授業について
 - ① 話し合いやグループワークでは、自分の考えを深めるとともに、他者の視点を知ることが意識しましょう。
 - ② さまざまな文章を読んで、論理的に考える力や他者に共感する力、想像する力を養いましょう。
 - ③ 自分の考えを他者に分かりやすく伝えることを意識して、作文や発表、プレゼンテーションなどの活動に取り組みましょう。
- (2) 学習の留意点
 - ① 意味や使い方がわからない語句や漢字は、chromebookや国語辞典を活用して必ず調べましょう。
 - ② ワークシートや作文、レポート等の提出期限を確認し、計画的に取り組みましょう。
 - ③ わからないことはそのままにせず、質問しましょう。

評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点		評価の観点の趣旨
①	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。
②	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
③	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
B B B	6	3
A B C	5	
B B C	4	
A C C	3	2
B C C	2	
C C C	1	1

評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備考
授業内の活動への参加状況	○	○	◎	発言や取り組みの内容
スピーチ・グループ発表	○	◎	○	内容、発表の仕方
作文・プリント等への取り組み	○	◎	◎	内容、見やすさ、わかりやすさ
単元テスト	◎	◎	○	内容、理解度
小テスト	○	○	◎	取り組み

◎特に重視する点

内容のまとめりごとの評価規準

科目名: 論理国語

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめり				
1	話す・聞く	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	積極的に学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い、適切な評価を行おうとしている。
2	書くこと	主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、自分の考えを明確に述べている。	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	目的や意図に応じて適切な内容や形式について粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。
3	読むこと	主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。
4				
5				
6				
7				
8				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	論理国語	教材 題材	進化が導き出した 答え (稲垣栄洋)	育成する 資質・能力 ・発見力 ・探究力 ・思考力 ・表現力 ・コミュニケーション力
単位数	2			
単元名	新しい発見			
内容のまとめ	(書くこと) 1h (読むこと) 8h			
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容	・生物の進化における多様性について理解し、それを人間の生き方に照らして考えを深める。			
	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。			
	・生物の進化における多様性について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。			
	・本文の内容を人間の世界に当てはめた場合の生き方について粘り強く考え、文章にまとめて発表しようとしている。			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み		○	○
	単元テスト・小テスト	○	○	
配当時間	9時間			
補足等				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	論理国語	教材 題材	数え方で磨く日本語 (飯田朝子)	育成する 資質・能力
単位数	2			
単元名	言葉と文化			
内容のまとめ	(書くこと) 1h (読むこと) 9h			
単元の目標	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例をもとに日本語のものの数え方の性質や文化的特徴を理解し、日本語感覚を磨く。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にするはたらきがあることを理解する。 ・「数え方の補う情報をうまく利用」した短い広告のコピーを粘り強く考え、積極的に発表しようとしている。 			
単元の評価規準	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み		○	○
	単元テスト・小テスト	○	○	
配当時間	10時間			
補足等				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	論理国語	教材 題材	情けは人の…… (俵万智)	育成する 資質・能力 ・学ぶ力 ・探究力 ・グローバル力 ・判断力 ・表現力 ・コミュニケーション力
単位数	2			
単元名	生活の中の表現			
内容のまとめ	(書くこと) 1h (読むこと) 9h			
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容	・本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。			
	・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。			
	・積極的に本文中の表現について指摘し、その表現が文章にもたらす効果を説明しようとしている。			
	・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み		○	○
	単元テスト・小テスト	○	○	
配当時間	10時間			
補足等				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	論理国語	教材 題材	バラと通貨はどう 違う？ (浜矩子)	育成する 資質・能力
単位数	2			
単元名	人間と文化			
内容のまとめ	(書くこと) 1h (読むこと) 9h			
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容	・本文中で通貨と対比されているものの性質を把握し、筆者が述べる通貨の本質を理解する。			
	・通貨の本質について述べた文章の内容を基に、自分の考えを発表する。			
	・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。			
	・本文を踏まえて、時代による「通貨」のあり方の違いについて積極的に話し合おうとしている。			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み		○	○
	単元テスト・小テスト	○	○	
配当時間	10時間			
補足等				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	育成する 資質・能力 ・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名	論理国語	教材 題材	鏡としての他者	
単位数	2		(榎本博明)	
単元名	自己と社会			
内容のまとめ	(書くこと) 1h (読むこと) 9h			
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容	・文章構造をもとに筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を考える。			
	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。			
	・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。			
	・本文を読んで、日常生活において自己イメージを意識する場面について考え、進んで話し合おうとしている。			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○
	単元テスト・小テスト	○	○	
配当時間	10時間			
補足等				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	論理国語	教材 題材	ボランティアへの 参加を伝える メールの文章を 検討する	育成する 資質・能力 ・学ぶ力 ・思考力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
単位数	2			
単元名	実用文			
内容のまとめ	(書くこと) 4h			
単元の目標	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実用文には書き方のルールがあり、場面や目的に応じて書き方に工夫が必要な点を理解する。 ・関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 ・文章の構成や表現のしかたについて、多面的・多角的な視点から評価する。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるように、表現のしかたを工夫する。 			
単元の評価規準	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○
配当時間	4時間			
補足等				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	論理国語	教材 題材	資料を集めて情報を整理する	育成する 資質・能力
単位数	2			
単元名	レポートを書く			
内容のまとめ	(書くこと) 6h			
単元の目標	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた資料を適切に探す方法を理解する。 ・資料の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解する。 ・集めた情報を的確に整理する方法を理解する。 ・設定した題材について分析した内容を、レポートにまとめる方法を学ぶ。 ・情報を収集、整理し、妥当性や信頼性を吟味して、目的や意図に応じた適切な情報を選別する方法を学ぶ。 ・積極的に資料の信頼性や妥当性を確かめ、目的や意図に応じて選別しようとしている。 			
単元の評価規準	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○
配当時間	6時間			
補足等				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	論理国語	教材 題材	得られた情報を分析して報告する テーマを絞り込む	育成する 資質・能力
単位数	2			
単元名	レポートを書く			
内容のまとめ	(書くこと) 6h			
				・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・表現力 ・自己指導力
単元の目標	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 資料から客観的な実態を取り出す方法を理解する。 得られた情報から疑問点をあげていく方法を理解する。 疑問点を整理してテーマを絞り込む方法を理解する。 設定した題材について分析した内容を、レポートにまとめる方法を学ぶ。 情報を収集、整理し、妥当性や信頼性を吟味して、目的や意図に応じた適切な情報を選別する方法を学ぶ。 教科書の例を参考に、集めた資料から粘り強く実態を読み取り、積極的に疑問点をあげようとしている。 			
単元の評価規準	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○
配当時間	6時間			
補足等				

単元の計画

教科名	国語	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	論理国語	教材 題材	構成を考えてレ ポートを書く	育成する 資質・能力
単位数	2			
単元名	レポートを書く			
内容のまとめ	(書くこと) 5h			
単元の目標	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けること。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとすること。	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに考えを整理する方法を理解する。 レポートのアウトラインを作成する方法を理解する。 実際にレポートを書く方法を理解する。 設定した題材について分析した内容を、レポートにまとめる方法を学ぶ。 文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の考えが的確に伝わるように工夫する方法を学ぶ。 教科書の例を参考に、資料から適切な情報を取り出し、説明や表現の仕方を工夫して、積極的にレポートの内容を書き直そうとしている。 			
単元の評価規準	知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	思考・判断・表現 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	
主な評価方法	授業内の活動への参加状況	○	○	○
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○
配当時間	5時間			
補足等				